

# 银杏坂タイム

◎ 仙台市 こども若者相談支援センター  
所長 星 恭典  
仙台市青葉区錦町 1-3-9  
Tel.022-214-8602(相談支援係)  
022-214-8848(青少年指導係)  
第 163 号 令和 6 年 3 月 11 日

## 関係機関職員研修会がありました！

今回の研修会では明治大学 文学部教授 諸富 祥彦 先生を講師に招き、子どもたちの不登校に関する現状や心情への理解を深め、よりよい支援の在り方を学ぶとともに、諸富先生がモットーとされている教職員や支援者を元気にする話が内容の中心となりました。



先生の軽妙な話術にリードされ、アイスブレイクとグループワークを中心に研修が進められました。参加者は、互いの業務の重要性や苦勞を雑談形式で語り合う傍ら、先生から事例やキーワードを伝えていただき理解を深めました。諸富先生のねらいがワーク型研修を通して、リレーション（関係づくり）の大切さを追体験することにより、有意義な研修となりました。以下、先生からいただいた言葉です。

- 職場で「フットワーク」「スマイル」「声掛け」は意識されているか
- 「人間関係のプロであれ」子どもたちを避けたり選んだりすることがないように
- 明るい働き掛けのある職場、一枚岩だからこそ、いい支援ができる。子どもたちは感じ取る。

## ふれあい広場や相談支援のこの一年

当センターの名称が変わり、間もなく一年となります。相談対象が39歳までの本人やその家族と広がったことで、さらに多くの相談が寄せられるようになりました。1月末現在の速報値ですが、子ども若者電話相談では、昨年度の倍を超える相談が寄せられています。20代以上と思われる「有職・無職」の相談者、高校生を筆頭に本人からの相談が大幅に増え、本人からの相談比率も77.6%（前年62.7%）となりました。内容としても「職業」「精神」「生き方・身上」の項目が大幅増となり、相談者のニーズの変化が読み取れます。

ふれあい広場では、先日、次年度の行事決めミーティングを実施しました。職員がねらいを持って行事を計画し主導することは必要です。一方で、通所者がイベントについて思いや考えを何らかの形で表現することで、当事者意識や参加意識を高めることもできると考えています。次年度のイベントの際には、時に運営に関わるなどしながら、思う存分楽しむことができればよいと思います。

